

トピックス

マンガで知ろう 季節の行事 「節分」

◇ ~日本のお正月~ 書初めにチャレンジしてみませんか ◇ 日本の国技「相撲」
こくごのもり「言葉をつなぐ」

マンガで知ろう 季節の行事 - 節分 -



日本の伝統的な行事、節分

2月3日は節分。「鬼は外! 福は内!」の掛け声で豆を蒔き、邪気を追い払って、新しい年を迎える行事です。自分の数え歳(今の年齢+1)と同じ数の豆を食べ、恵方巻きは願い事をしながら無言で食べます。恵方(幸福を得られるという方角)を向いて食べましょう。2024年の恵方は東北東です。

「とも」は日本での生活に役立つ情報や日本語を勉強するためのヒントなどをふりがな付き日本語と9言語(ベトナム語、中国語、フィリピン語、インドネシア語、タイ語、カンボジア語、ミャンマー語、モンゴル語、英語)で発行しています。日本語版はリーフレットでお届けし、外国語版はJITCOホームページからスマートフォンなどでPDF版をご覧いただけます。ぜひご利用ください。(https://www.jitco.or.jp/ja/tomo/)





にほん しょうがつ かきぞ ちゃれんじ
 ~日本のお正月~書初めにチャレンジしてみませんか

書初めは日本のお正月行事のひとつで一年の初めに文字や絵を書くことをいいます。新しい年の目標や努力を表す言葉、健康や幸せを願う熟語を墨と筆を使って書くことが多いものです。皆さんも今年のご目標や将来の夢などを大きな紙に書いてみませんか。



1月号では例年書初め大会を開催している相生電子工業で働くベトナム出身の2人にお話を伺いました。「当社では書初め大会のほかにも、成人式、お花見、いちご狩り、花火大会など一年を通じて様々なイベントを行っています。日本の文化を体験することで日本への理解が深まり、より良いコミュニケーションが生まれるきっかけになっています。」と同社の矢島源吾社長は話してくれました。

協力：相生電子工業株式会社（神奈川県高座郡寒川町）



ファンティミーフェン
 (自筆)

- 「成長」と書いた理由を教えてください。
 ー日本に来て4年が経ち、色々なことを勉強して自分が成長したと感じたので選びました。
- 墨と筆で書いた感想を教えてください。
 ー初めて筆を使いました。ベトナムにも筆はありますが一般的には使いません。最初は紙が破れてしまって書きづらかったです。
- 今の楽しみは何ですか？
 ー旅行が好きです。岐阜の白川郷に行ったときに雪を見て感動しました。
- 日本に来て辛かったことはありますか？
 ー家族と会えず寂しいと感じました。今は休みの日にビデオ通話をしています。
- 将来の夢や目標を教えてください。
 ーベトナムに戻ったら日本で勉強したことを活かして働きたいです。

- 「団結」と書いた理由を教えてください。
 ー多くの方が心を合わせて同じ方向を向いて努力をしているという意味がある言葉を選びました。
- 墨と筆で書いた感想を教えてください。
 ー初めて筆を使いました。綺麗に書くのはとても難しく、お手本を見ながら何度も書き直しました。
- 日本に来て感動したことはありますか？
 ーベトナムは一年中雨が多くて暑いですが、日本には春夏秋冬の四季があることです。
- 好きな日本食は何ですか？
 ーお寿司です。でも生モノは苦手です。納豆は大好きです。
- 来日してから感じた日本について教えてください。
 ー日本のことが好きで来日しました。来る前には分からなかったけど、日本人もやさしい人、難しい人、仕事に厳しい人など様々です。ベトナム人とは違う考え方に戸惑ったこともありましたが、生活をしながら日本人にも日本の考え方も少しずつ慣れてきました。



ファンティミーフェン
 (自筆)

JITCOでは、いろいろな「日本語を勉強するための教材」を販売しています。技能実習の現場でよくある会話を中心に学ぶことができるテキストもあります。ぜひ「JITCO教材オンラインショップ」のサイトをチェックしてください。 <https://onlineshop.jitco.or.jp/>



日本の国技「相撲」

相撲は日本特有の武芸・競技であり、伝統がある文化です。これを「国技」と呼びます。その起源はとて古く、神話の時代にまでさかのぼります。

相撲はまず、豊かな収穫を祈る祭りでの儀式として日本全国に広がりました。また、今から800年以上前から400年前くらいまでの「武士の時代」には戦いの訓練として盛んに行われました。そして、平和な時代になると競技として相撲を取ることを職業とする人たちが「力士」が登場し、お金を払って見る興行として人気が出ました。

長い歴史の中で競技としてのルールができあがり、同時に力士の容姿や生活、社会との関わりなどが文化として定着し、今の時代に続いています。長い髪を束ねて頭の上に乗せる「丁髷」と呼ばれる髪型は、分かりやすい例ですね。

相撲の世界だけで使われていた言葉が、日本人がふだんからよく使う言葉になったものもたくさんあります。例えば「がちんこ」。本気の戦いのことを「ガチの勝負」なんて言いますが、元は相撲用語です。次に「土俵際」。相撲をする場所には円形の境界があり、これを超えて外に出ると負けです。そのことから物事がまさに決着しようとする瞬間のこ

とを土俵際などと言います。最後に「千秋楽」。相撲のほか映画や演劇など興行の最終日を意味します。その他、「序ノ口」「死に体」「力水」「水入り」「ぶちかまし」などの言葉も、もとは相撲用語です。意味を調べると面白いでしょう。

東京、名古屋、大阪、福岡で開催する年6回の本場所の場合、1日あたり100以上の取組(試合)があり、入れ替わりで登場する力士は1日に1取組だけ、これが15日間続くという、世界のスポーツでも非常に珍しい仕組みになっています。また、全国各地で開催される興行では、力士たちはとても身近な存在になります。だから、力士たちは愛着を込められて「お相撲さん」なんて呼ばれます。野球選手を「お野球さん」なんて呼ばないですよ。

体と体、頭と頭が激しくぶつかり合い、その音が響き渡る相撲の観戦は迫力十分です。ぜひ、体験してみてください。



こくごのもり

日本語の言葉と漢字やその使い方を学べる教材です。楽しみながら答えを考えてみましょう。(答えは次のページにあります。)

とにをの
ががへも
のの

ど	弟	だれ	かぜ	バス	七時	にこまる	ノート
こ							
行こうか	わらわせる	いない	休む	つく	おきる	かさ	えんぴつ

指導・元世田谷区立
小学校教諭
高橋 祐子
イラスト・奈良恵

言葉をつなぐ

①上と下の言葉をつなぐ一文字の言葉をえらんで書きましょう。



ミャンマーの伝統服ロンジーを履いた実習生たち。浅草寺前での記念撮影では青空の下、穏やかな笑顔があふれます。この日は皇居前の二重橋で散歩をして、東京湾でクルーズ船に乗り、念願の東京タワーと東京スカイツリーにも行って、たくさんのお思い出を作ることができました。

※2023年7月投稿 (監理団体：TNK協同組合、実習実施者：株式会社兼藤)

受入機関などからJITCOホームページに投稿いただいた「技能実習Days」から1枚を選んで掲載しています。「技能実習Days」ページ及び応募要項はこちらをご覧ください。

(<https://www.jitco.or.jp/ja/days/>)



そうだんまどぐち あんない
相談窓口のご案内

こま 困ったときは...? (<https://www.otit.go.jp/notebook/>)

OTIT (外国人技能実習機構) では、困ったときの母国語相談窓口や、地域の相談窓口や防災情報、便利なアプリ「げんばのにほんご」「技能実習手帳」などを利用できます。



ある言葉について、さまざまな働きをする小さくて大事な言葉が助詞です。ある言葉の下について、他の言葉との関係を示したり、ある意味を添えたりする働きをします。

ほかに「から・けれど・こそ・さえ・ほど……」などがあり、言葉の大事なつなぎ手となっています。



とも

2024年1月 冬季号

2024年1月1日発行

発行

公益財団法人 国際人材協力機構 (JITCO)

総務部広報室

〒108-0023

東京都港区芝浦2-11-5

五十嵐ビルディング

電話

03-4306-1166 (ダイヤルイン)

JITCO ホームページ

<https://www.jitco.or.jp/>